



宮崎県で高病原性鳥インフルエンザ (国内18、19例目)の疑似患畜を確認!

18例目

【農場概要】 所在地: 宮崎県都城市
飼養状況: 肉用鶏 (約6万羽)

【経緯】

12月 7日 12月3日の県内3例目(今シーズン国内15例目)の高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜確認に伴い、遺伝子検査を実施した結果、「陽性」と判明
立入検査の結果、臨床症状が確認されたため、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確定

19例目

【農場概要】 所在地: 宮崎県小林市
飼養状況: 肉用鶏 (約4.3万羽)

【経緯】

12月 7日 12月3日の県内3例目(今シーズン国内15例目)の発生に伴い、周辺農場に立入り、遺伝子検査及び抗体検査等を実施し、「陰性」を確認
死亡鶏増加の通報を受け、立入検査を実施したところ、簡易検査で「陽性」と判明

12月 8日 遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)と判明し、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認

- ◆ 野鳥や環境材料(水)からウイルスが検出されています。
- ◆ 国内各地の養鶏場で発生が多発しています。
- ◆ そのためにも、飼養衛生管理基準のチェックで不備であった事項は早急に改善をお願いします。

いつもと様子が違う時は、早期の通報をお願いします

1日の死亡率が前21日平均の2倍以上



家畜保健衛生所にご連絡ください

(その他、下記のような場合もご連絡ください)

- ・ 5羽以上の鶏がまとまってうずくまっている、死んでいる
- ・ 脚部の皮下出血、肉垂の出血・壊死、突然の沈うつといった症状が見られる

中濃家畜保健衛生所(高病原性鳥インフルエンザ相談窓口)

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092

閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

つながらない場合は 0574-25-3484 へ。土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています。